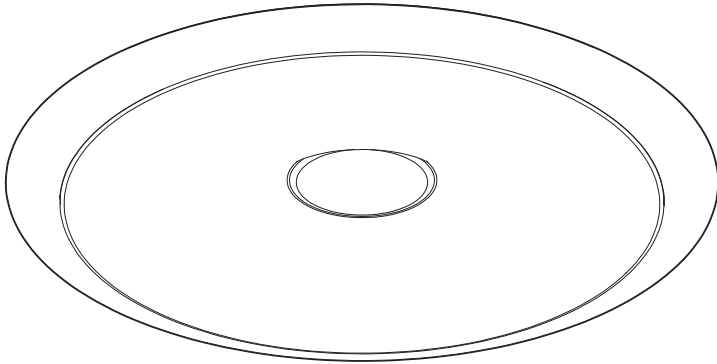


LED 保管用
シーリングライト
CL8N-FEⅢ
CL12N-FEⅢ
取扱説明書



取り付け可能な天井配線器具形状

天井からの出しろ	20mm以上24mm未満		10mm以上14mm未満
形状	角型引掛シーリング 	丸型引掛シーリング・ローゼット 	埋込引掛ローゼット
	角型引掛シーリング	丸型引掛シーリング フル引掛ローゼット	丸型フル引掛シーリング 埋込ローゼット (耳つき) 埋込ローゼット (耳なし)

下記への取り付けは工事店・電気店にご相談ください。

配線だけのもの 	アウトレットボックスのもの
-------------	-------------------

※電気工事士の資格が必要です。

保証書付

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
 - 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
 - この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
 - 「保証書」は、「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

主な機能

- 調光10段階
- メモリ点灯
- るすばんタイマー
- おやすみタイマー
- おはようタイマー
- チャンネル切り替え (2チャンネル)
- 電気代表示

もくじ

	ページ
安全上の注意	2
各部の名称	4
取り付け	7
取り外し	10
明かりをつける	11
便利な機能	12
お手入れについて	19
故障かな?と思ったら	20
仕様	21
保証とアフターサービス	21
保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

安全上の注意

安全に使用いただくために下記の事項を必ずお守りください。

※使用する前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

※配線器具の交換は有資格者による電気工事が必要です。資格のない方の工事は法律で禁止されています。

※ここに示した「警告」または「注意」項目は、お使いになる方や周囲の方々への危害防止および財産の損害防止を目的としたものです。いずれも安全に関わる重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生したりするおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」



しなければならない「指示」



一般注意を促す

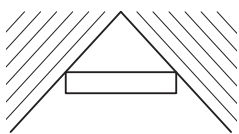
警告



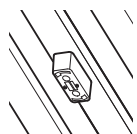
禁止

次のような場所には取り付けない

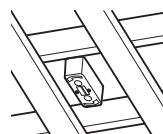
本照明器具は天井取り付け専用です。指定以外の場所に取り付けると、火災・感電・落下によるけがの原因となります。



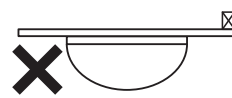
舟底天井



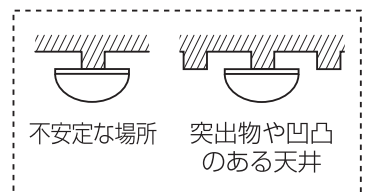
さおぶち天井



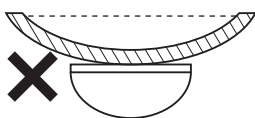
格子天井



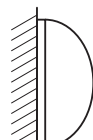
補強のない薄い天井
(ベニヤ板、石こうボードなど)



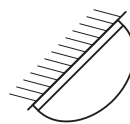
不安定な場所
突出物や凹凸のある天井



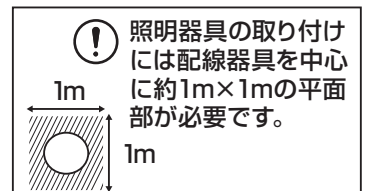
簡単にたわむ天井



壁面



傾斜天井



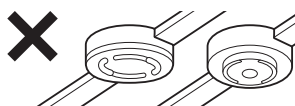
照明器具の取り付けには配線器具を中心に約1m×1mの平面部が必要です。



禁止

次のような配線器具には取り付けない

火災・感電・落下してけがの原因となります。配線器具の交換は、販売店・工事店にご依頼ください。(配線器具の交換は資格が必要です)



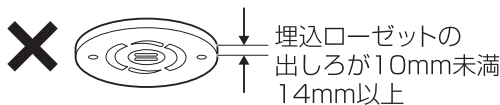
ケースウェイに取り付けている



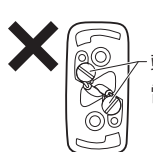
破損、またはぐらつくもの



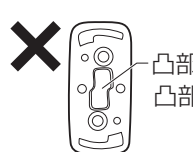
シーリングハンガー付



埋込ローゼットの出しろが10mm未満
14mm以上



端子電源端子露出




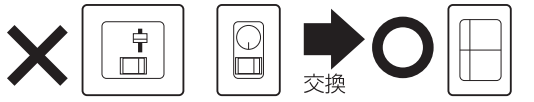



凸部凸部のあるもの







角型・丸型引掛シーリングの出しろが20mm未満
24mm以上

⚠ 警告

 改造	改造や、部品交換をしない 落下・感電・火災などの原因になります。	 必ず実施	取り付けは確実に 行う 落下・破損・けがの原因になりますので、本書にしたがい確実に行ってください。
 調光器	調光器を使用しない 破損や発煙の原因になります。 		異常を感じたら速やかに電源を切る すぐに電源を切り、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。
 可燃物	可燃物で覆ったり、被せたり、近づけたりしない 火災の原因になります。		交流100Vで使用する 火災・感電の危険がありますので、定格電圧以外では使用しないでください。
			清掃・取り付け・取り外し時は必ず電源を切る 感電の原因になります。

⚠ 注意

 直視禁止	LED光源を直視しない 目の傷みの原因になる場合があります。	 禁止	温度の高い場所で使用しない 火災の原因になりますので、高温の場所へは設置しないでください。
 接触禁止	点灯中・消灯直後は、照明器具に触れない やけどの原因になる場合があります。		屋外や湿気の多い場所で使用しない 故障や感電の原因になりますので、屋外や湿気の多い場所では使用しないでください。
 禁止	破損した場合は使用しない 落下してけがの原因になります。 破損した場合は修理に出してください。	 必ず実施	薬品を使用しない 変形、火災の原因になります。 殺虫剤、かび取り剤などをかけないでください。
	温度が高くなる機器を近くに置かない 故障の原因になります。 以下のような設置場所は避けてください。 ・エアコン吹き出し口近くへの設置 ・真下に発熱機器の設置(ストーブ・コンロ等)		充電電池をリモコンに使用しない 操作できない場合があります。
	水洗いしない 火災・感電の原因になります。 水につけたり、かけたりしないでください。 (19ページ参照)		年に1回は自主点検を実施する 長期間の連続使用による発煙・発火・感電等の事故を防ぐため、定期点検を実施してください。 (21ページ参照) 設置後8~10年経つと、自然に内部劣化が進みます。 ※参考使用条件:周囲温度30℃、1日10時間点灯、 年間3,000時間点灯した場合。 (JIS C8105-1解説による)

るすばん機能についてのご注意

- るすばん機能を設定することにより、自動で点灯・消灯します。留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。損害が発生しても責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 壁スイッチを切ったり停電したりすると、るすばん機能は解除されます。

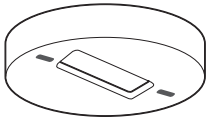
ご使用についてのお知らせ

- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り替わらない場合があります。
- 付属のリモコンはアイリスオーヤマ製照明器具専用です。他のリモコンを使用する機器(テレビなど)には使用できません。
- 本照明器具の近くで他の赤外線リモコン方式の機器やワイヤレス機器を使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 点灯直後や明るさ・光色を切り替えた直後などに、リモコン信号を受信しにくくなる場合があります。その際は少し時間を置いて、再度リモコンを操作してください。
- 3Dテレビを視聴しているときは、本照明器具のリモコンが反応しにくくなる場合があります。
- 天井や壁、床の材質によっては、リモコンが反応しにくくなる場合があります。
- ラジオ、ワイヤレス方式の機器はなるべく照明器具から離して使用してください。雑音が入る場合があります。
- 本照明器具はリモコンで消灯しても、約0.5Wの電力を消費しています。
- LED光源にはばらつきがあるため、同じ型式・形状の商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 照射距離が近い場合、照射面で光むらがある場合があります。
- 本照明器具は、LED光源が内部に組み込まれているため、LED光源の交換はできません。
- 停電復帰時や、予期せぬごく短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。

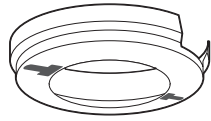
各部の名称

- 組み立てる前に下記の部品がすべてそろっていることを確かめください。
- 表記以外の部材は梱包材です。

照明器具

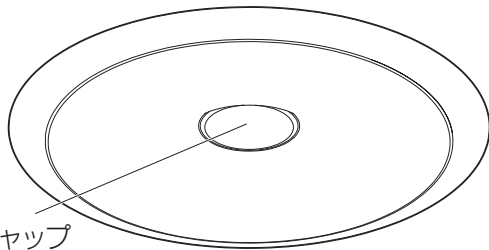


スペーサー (角)



スペーサー (丸)

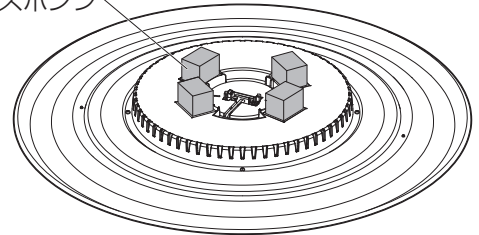
本体 (分解しないでください)



センターキャップ

本体裏側

スポンジ

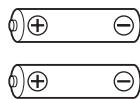


リモコン付属品

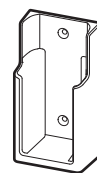
- リモコン:1台
(操作方法は11ページ参照)



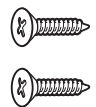
- 単4形乾電池:2本
※動作確認用



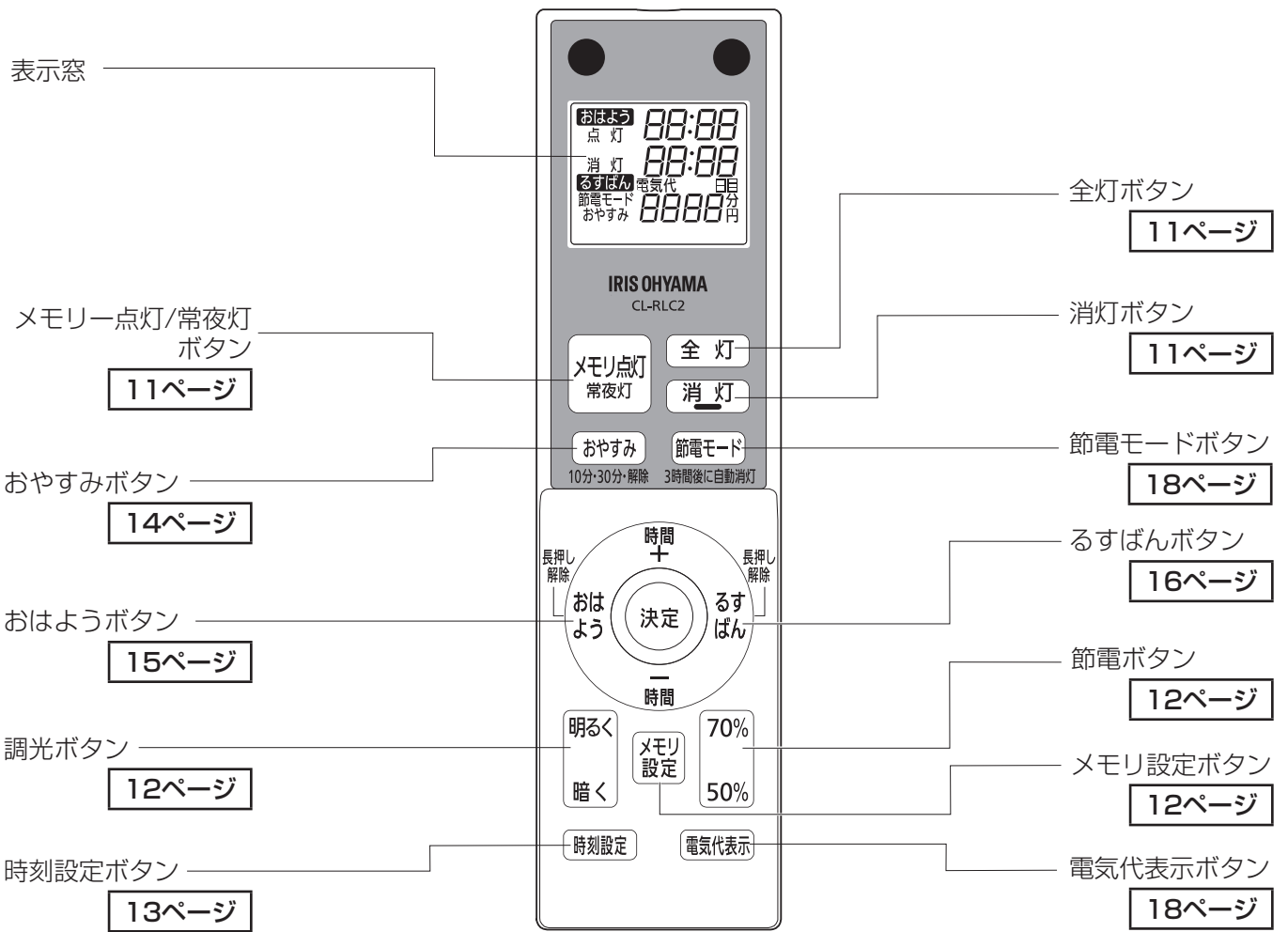
- リモコンホルダー:1個



- ねじ:2本

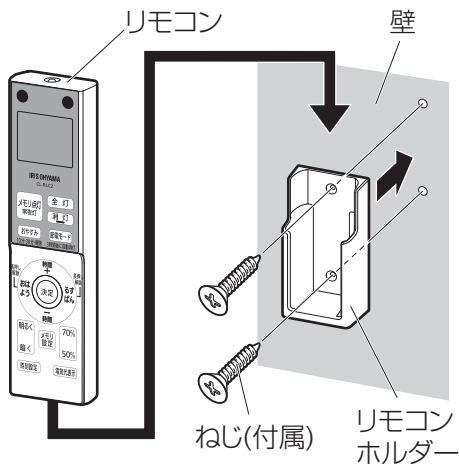


リモコン



■ リモコン収納のしかた

- リモコンホルダーを壁に取り付け、壁掛け収納ができます。
(※収納した状態では操作しないでください)



■ 乾電池の入れかた

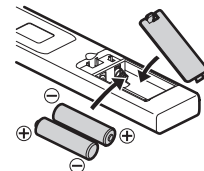
1 つめを押しながら、裏面のカバーを持ち上げる。

1



2 表示に合わせて+-を間違えないように乾電池を入れ、つめの向きを合わせてカバーを閉める。

2



- 電池の寿命は、新品のアルカリ電池を使用した場合で約1年です。付属の電池は動作確認用なので、上記より早く消耗する場合があります。
- 電池を交換するときは、2本とも新品の単4形アルカリ乾電池に交換してください。
- 新旧、異種の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は電池を外して保管してください。

■ チャンネル切り替えについて

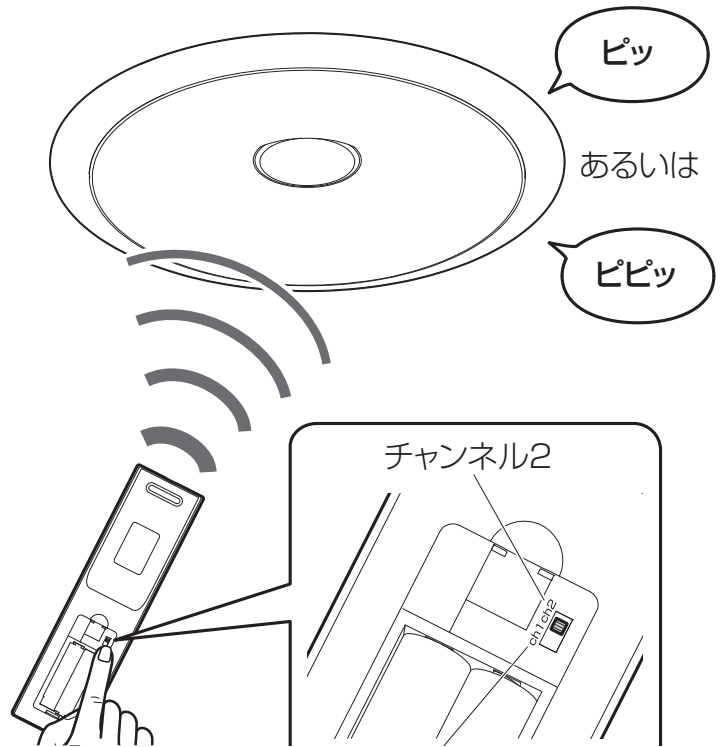
※出荷時はチャンネル1に設定されています。

リモコンに電池が入っていること、壁スイッチがあれば、ON（入）になっていることを確認してから、変更してください。

リモコンの裏カバーを外します。
リモコンを照明器具に向けながら内側にあるスライドスイッチを動かしてチャンネルを変更してください。
※リモコンのチャンネル切り替えに合わせて、チャンネル設定信号が本体にも送られます。

チャンネルが切り替わると、照明器具から音がします。
チャンネル1に切り替え：「ピッ」
チャンネル2に切り替え：「ピピッ」

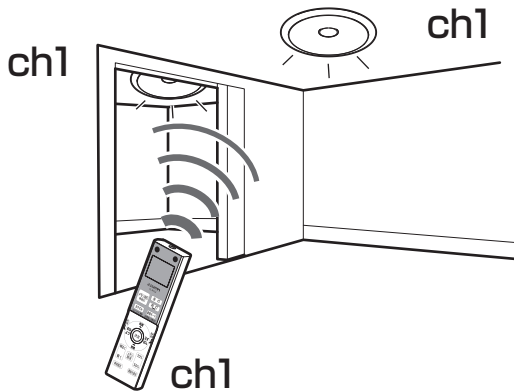
照明器具からの音を確認したら、リモコンの裏カバーを戻してください。



複数の照明器具がある場合

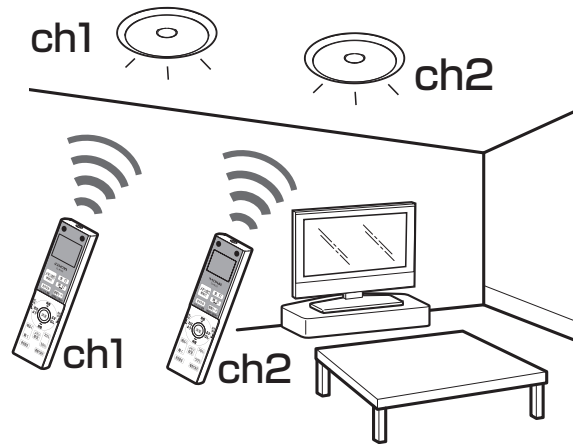
● 1つのリモコンで操作する

隣接する照明器具を同じチャンネルに設定します。
※ 照明器具間の距離やリモコン操作時の方向によっては同時に点灯しない場合があります。



● 別々のリモコンで操作する

隣接する照明器具のチャンネルを別々に設定することでそれぞれ対応するリモコンでのみ操作できます。



ご注意

複数の照明器具があり、別々のリモコンで操作したい場合は、設定を変更したい照明器具だけが信号を受ける向きに向けるか、設定を変更したい照明器具に近づけるなどして設定してください。

他の照明器具も、チャンネル設定信号を受けると設定が変わってしまいます。

※設定変更をしない方の照明器具の壁スイッチをOFF（切）にしたり、間に扉があればその扉を閉めて、設定変更を行ってください。

取り付け



警告

必ず電源を遮断してください。



注意

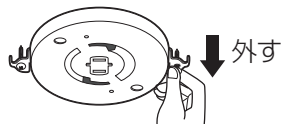
高所での作業になります。
必ず足元の安全を確保してから行ってください。



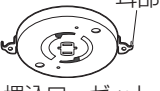
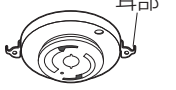


天井に付いている配線器具を確認する

右図以外の配線器具、または配線だけのものは取り付けできません。

一般の方の工事は法律で禁止されています。
電気店または工事店に依頼してください。

※ローゼットの耳部にねじが付いている場合は、
ねじを外してから照明器具を取り付けてください。



<側面図>		
天井からの出しろ		天井 // 出しろ 配線器具 ↑
20mm以上24mm未満		10mm以上 14mm未満
 角形引掛シーリング	 丸形引掛シーリング	 埋込ローゼット (耳つき)
 フル引掛シーリング	 丸形フル引掛 シーリング	 埋込ローゼット (耳なし)

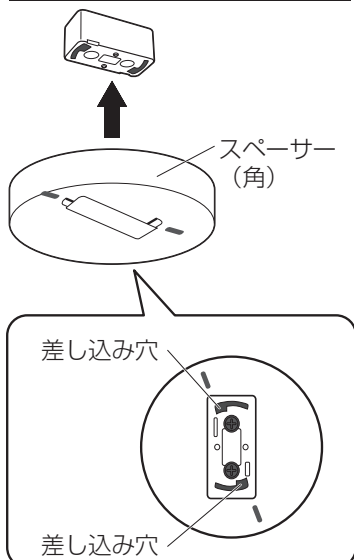
準備

配線器具にスペーサーを取り付ける

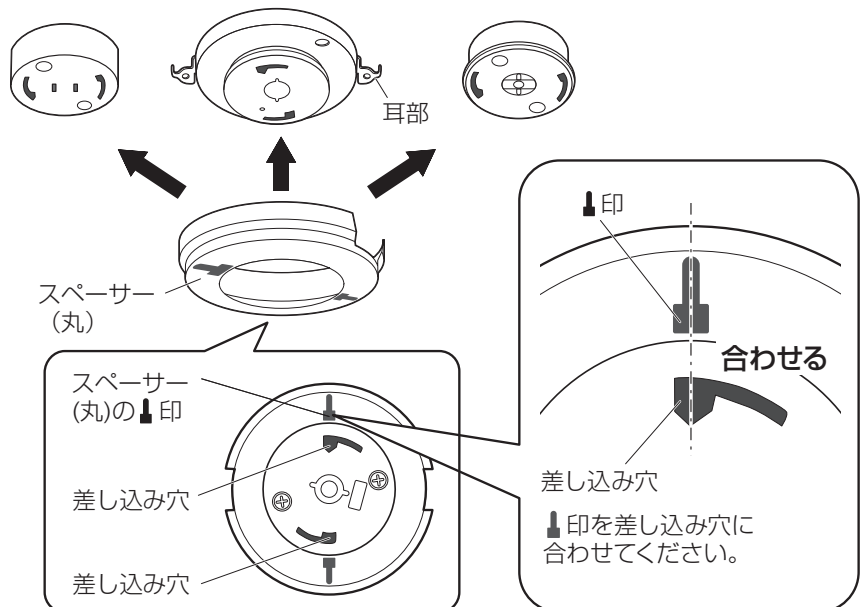
それぞれの配線器具に合ったスペーサーを取り付けることで、器具が取り付けやすくなります。
(埋込引掛ローゼットの場合は、スペーサーは使用しません。)

※一部の配線器具には取り付けられない(ゆるい、きつい)場合があります。その場合には、スペーサーは
使用しないでください。

角型引掛 シーリングの場合

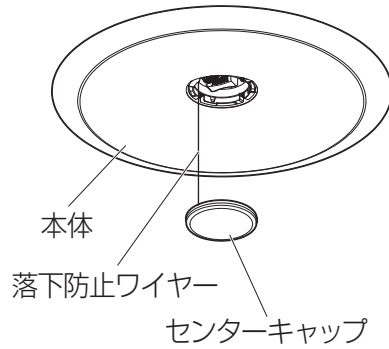


丸型引掛シーリング・ローゼットの場合



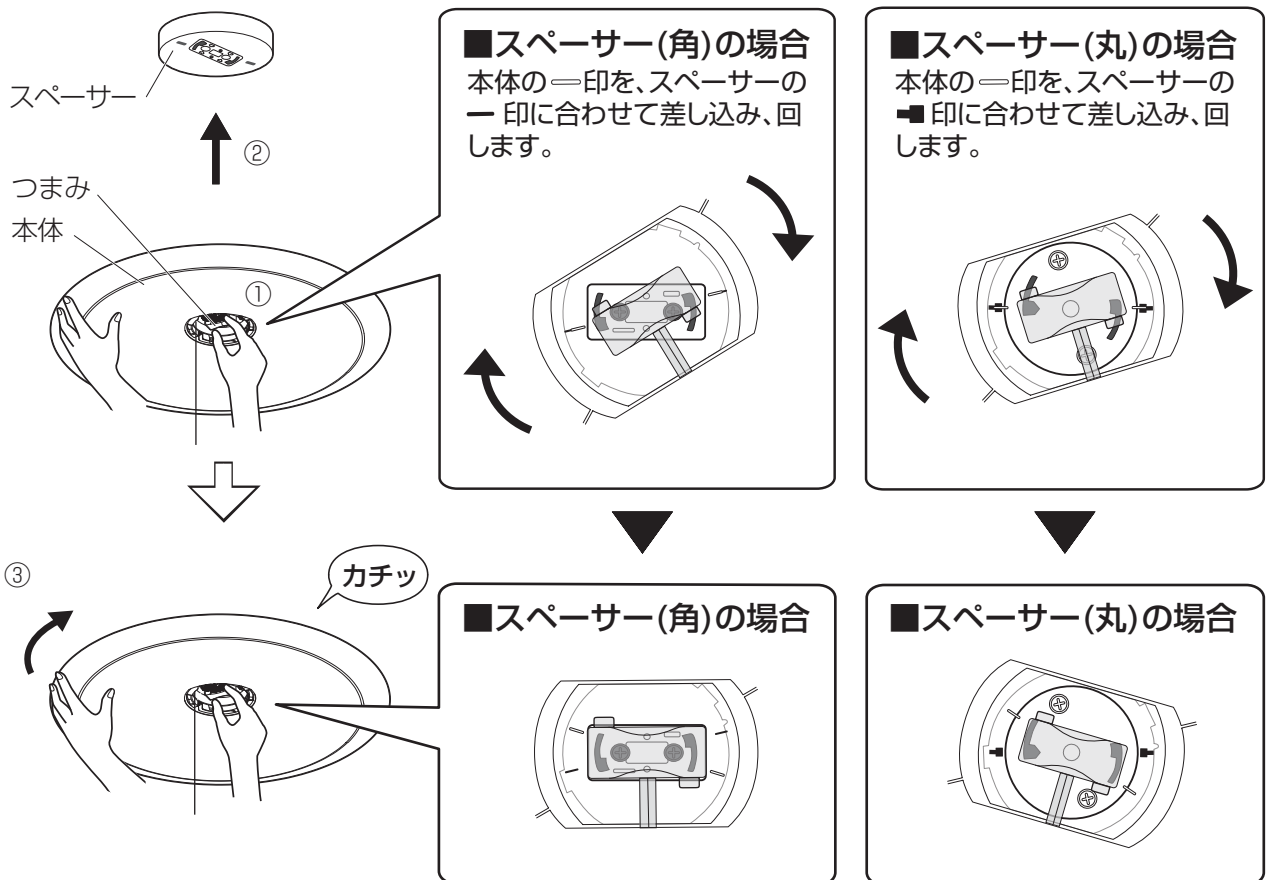
1

本体を取り付ける



- ① 本体中央のつまみを持ち、センターキャップが取り付け穴から配線器具の（端子）差し込み穴の位置を確認し、スペーサーの印に本体の印を合わせます。
※スペーサーを使用していない場合は、本体の印を目安に端子を差し込み穴に合わせてください。
- ② そのまま持ち上げて端子を差し込んでください。
- ③ つまみを時計回りに回します。
つまみを天井側に押しつけながら「カチッ」と音がするまで回してください。
※ロック解除ボタン（「取り外し」参照）は押さずに回してください。
押しながら回すと「カチッ」と音がしません。

2

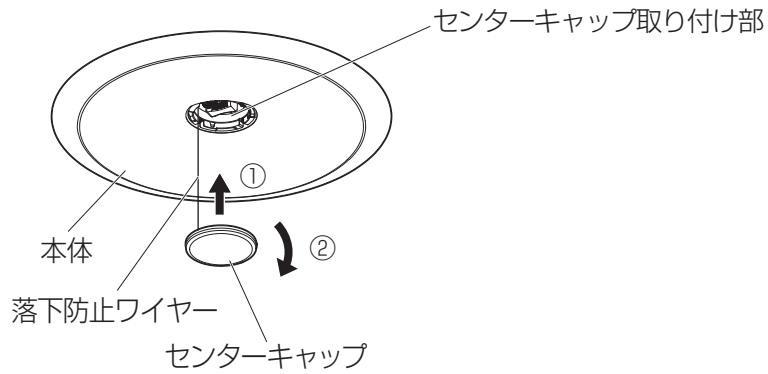


注意

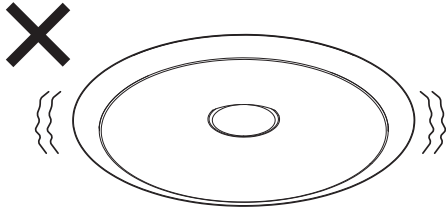
本体を必要以上に回転させないでください。引掛シーリングやローゼットが破損します。

センターキャップを取り付ける

- ①センターキャップを本体に差し込み、軽く押し付けながら、
- ②時計回りに回し、確実に取り付けてください。



本体がぐらついたり、傾いたりしている場合は正しく取り付けられていないため、もう一度取り付けなおしてください。



※取り付け後、使用したときに異常が見られた場合は、壁スイッチを切り、もう一度本体を外して、取り付けなおしてください。

取り外し



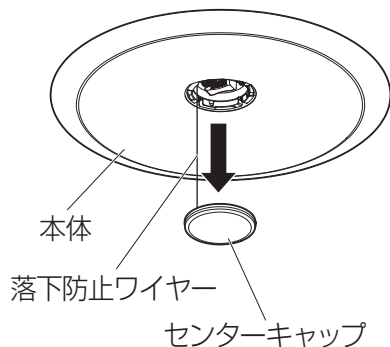
警告

- 取り外しは必ず電源を遮断してから行ってください。
- 消灯直後は本体や器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから取り外してください。

センターキャップを外す

本体を押さえながら、反時計回りに回して本体から取り外してください。

1



本体を取り外す

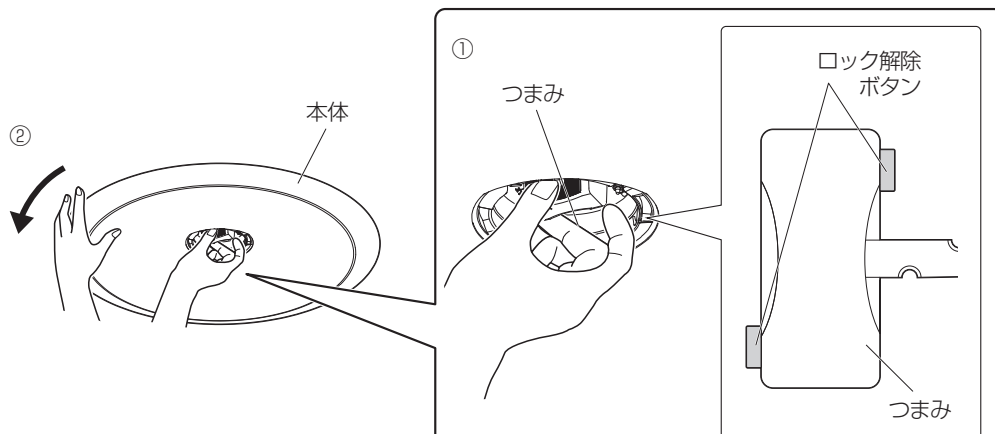
- ①つまみの2か所のロック解除ボタンを2つ共押ししながら、
- ②反時計回りに回して本体を外してください。



注意

- 本体を片方の手で支えながら外してください。器具の落下によるけがや破損の原因となります。

2



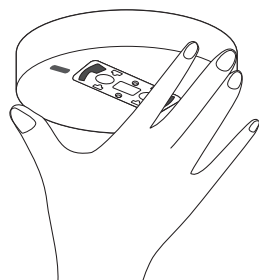
スペーサーを取り外す



注意

本体を外したはずみでスペーサーが落下することがあります。

3

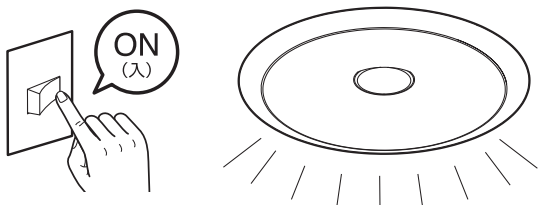


明かりをつける

■ 壁スイッチで操作する

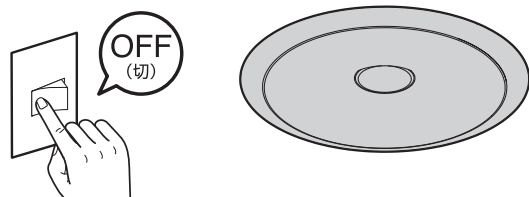
点
灯

壁スイッチを切る前の点灯状態になります。

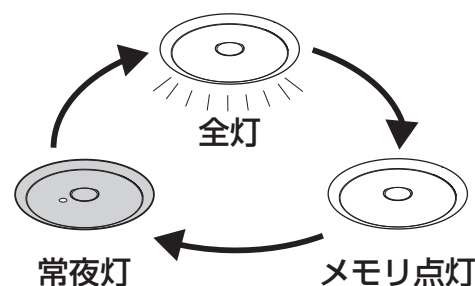
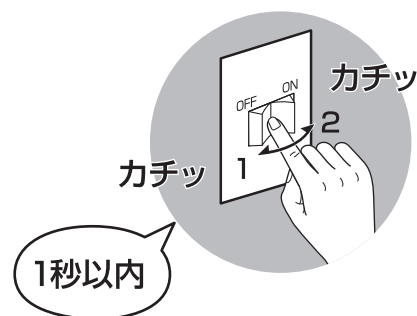


消
灯

消灯します。



点
灯
状
態
の
切
り
替
え



素早く(1秒以内)スイッチを切入することで、点灯状態を切り替えることができます。

お知らせ

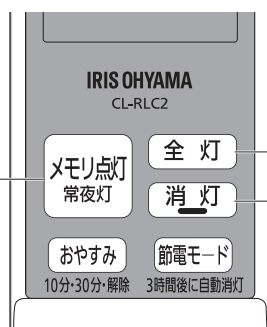
- 工場出荷時の点灯状態は全灯です。
- 壁スイッチをONにしても点灯しない場合は、壁スイッチを素早く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、リモコンで点灯してください。
- 壁スイッチを切ると、タイマー機能は解除されます。

■ リモコンで操作する

壁スイッチを「ON」にして、お好みのボタンで点灯させてください。

メモリ点灯/常夜灯ボタン

メモリに記憶させた明るさで点灯(メモリ点灯)させたり、常夜灯を点灯させたりします。
ボタンを押すたびにメモリ点灯と常夜灯が切り替わります。
※ 出荷時に記憶されている明かり(点灯状態)は全灯です。



全灯ボタン

100%の明るさで点灯させます。

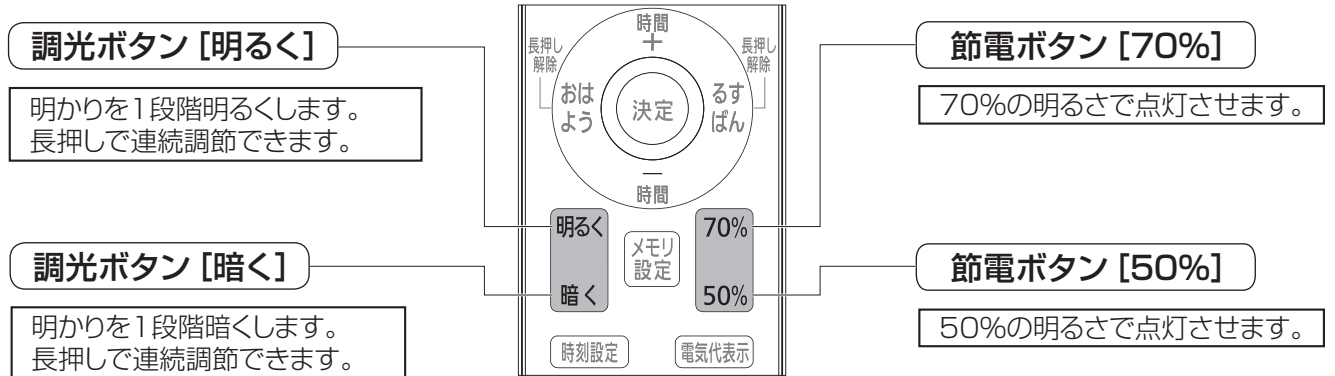
消灯ボタン

明かりを消灯させます。

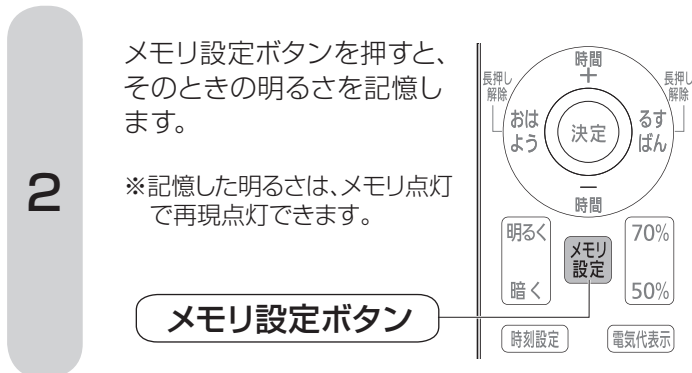
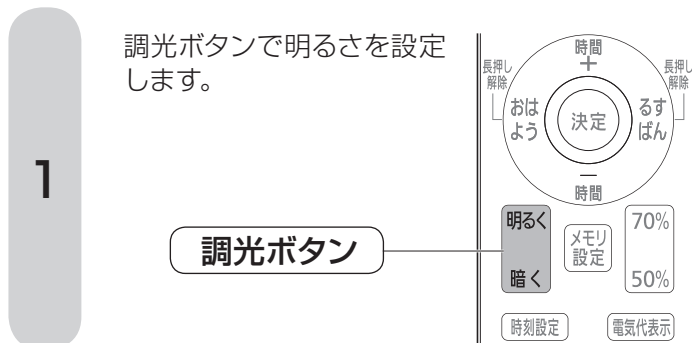
便利な機能

■ 明るさを変える

照明器具の明るさが調節できます。
※調光10段階（常夜灯は2段階）。
ボタンを押すと、「ピッ」と音がします。
調光範囲をこえると、「ピピッ」と音がします。

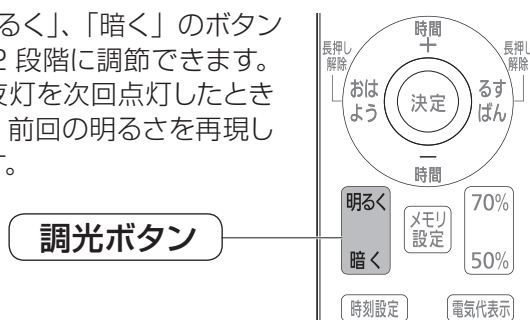


■ 明るさを記憶させる



■ 常夜灯の明るさを調節する

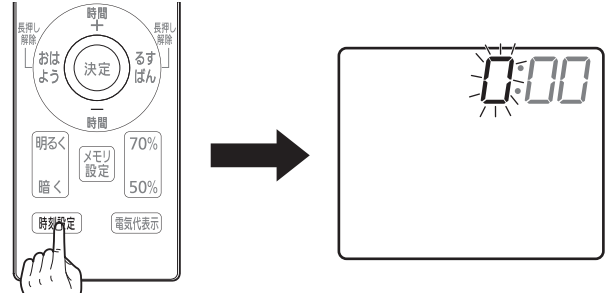
「明るく」、「暗く」のボタンで2段階に調節できます。常夜灯を次回点灯したときは、前回の明るさを再現します。



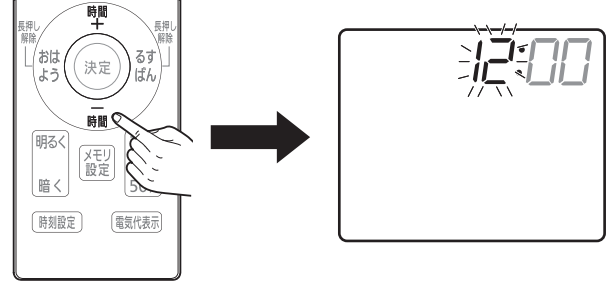
時刻を設定する

時刻表示を“時(24時間制表示)”、“分”単位で設定します。

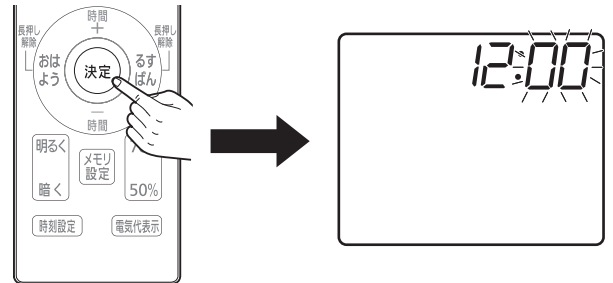
「時刻設定」ボタンを、液晶表示の時刻表示部分の左1桁“時”が点滅するまで、1秒以上長押しします。



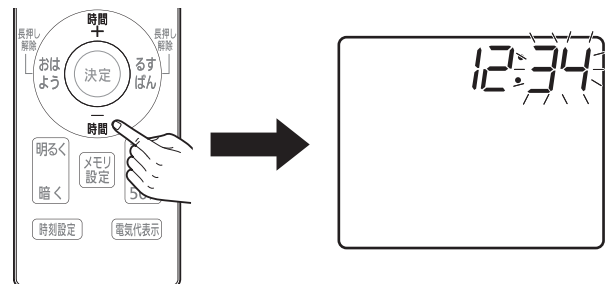
「時間+」、「時間-」ボタンを押して“時”を合わせます。



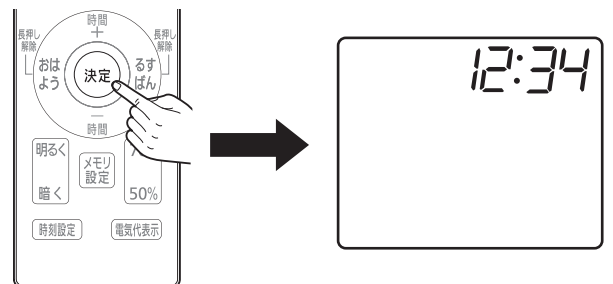
「決定」ボタンを押します。
“時”が設定され、今度は液晶表示の時刻表示部分の右2桁“分”が点滅します。



「時間+」、「時間-」ボタンを押して“分”を合わせます。



「決定」ボタンを押します。
時刻が設定され、表示を始めます。



時刻設定

タイマー機能を使う

お知らせ

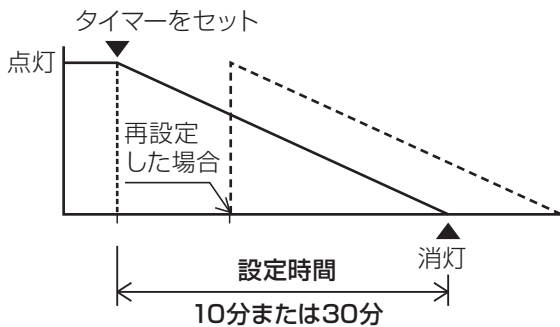
- 複数のタイマー機能を同時に設定することができますが、点灯と消灯の時刻が重なってしまう場合は、点灯時刻が優先されます。

リモコンのボタンを押してタイマーをセットすることができます。
 信号を受信すると、照明器具から音がします。
 設定した内容が液晶窓に表示されます。

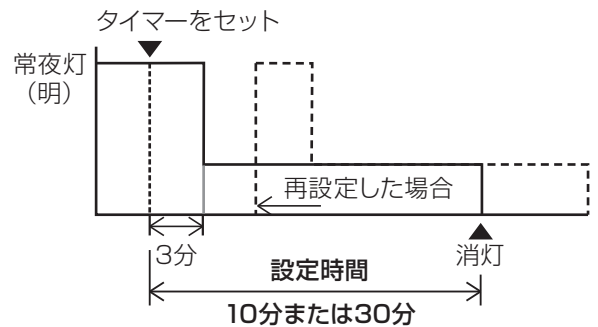
■おやすみタイマー

設定した後、徐々に暗くなり、設定時間（10分または30分）で消灯します。
 また、おやすみタイマー動作中でも再度設定を行うことができます。設定方法は最初に設定するときと同じ方法です。

〈点灯状態からのおやすみタイマー動作イメージ〉



〈常夜灯でのおやすみタイマー動作イメージ〉



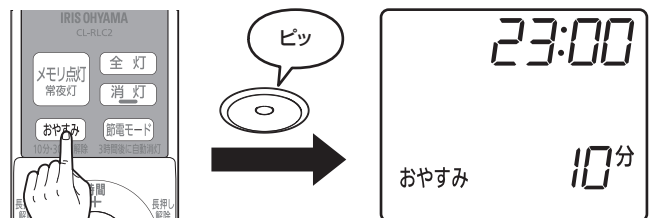
※暗めの常夜灯で設定した場合、明るさは変わりません。

お知らせ

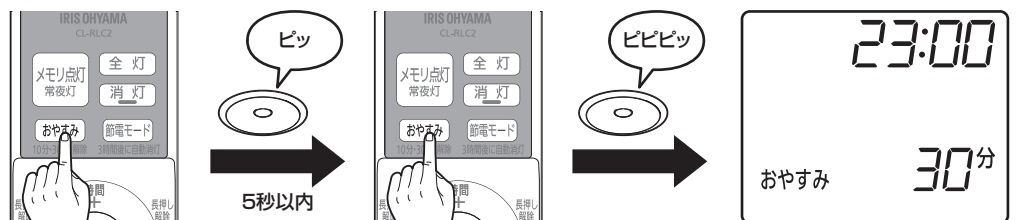
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、おやすみタイマーは解除されます。
- 調光ボタンなど、点灯状態を変えるボタンを押すと、おやすみタイマーは解除されます。

設定

- ・ 10分に設定したいとき・・・1回押す

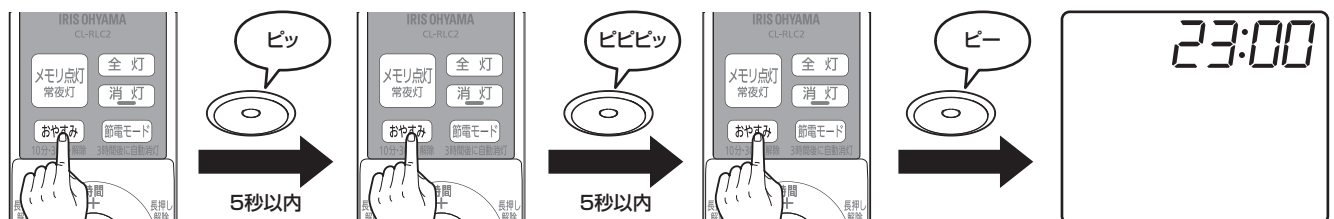


- ・ 30分に設定したいとき・・・2回押す



- ・ 設定を解除したいとき・・・3回押す (ピッ→ピピピッ→ピー)

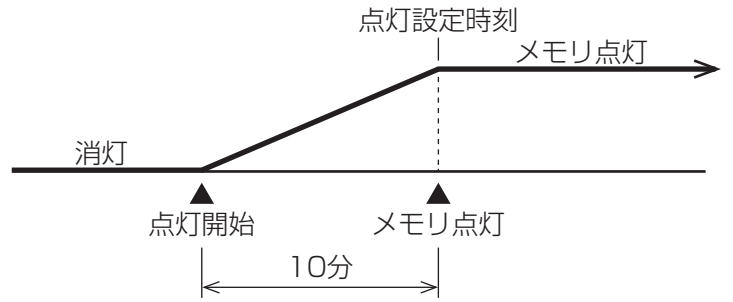
解除



■おはようタイマー

時刻設定（13ページ参照）をしてから設定してください。

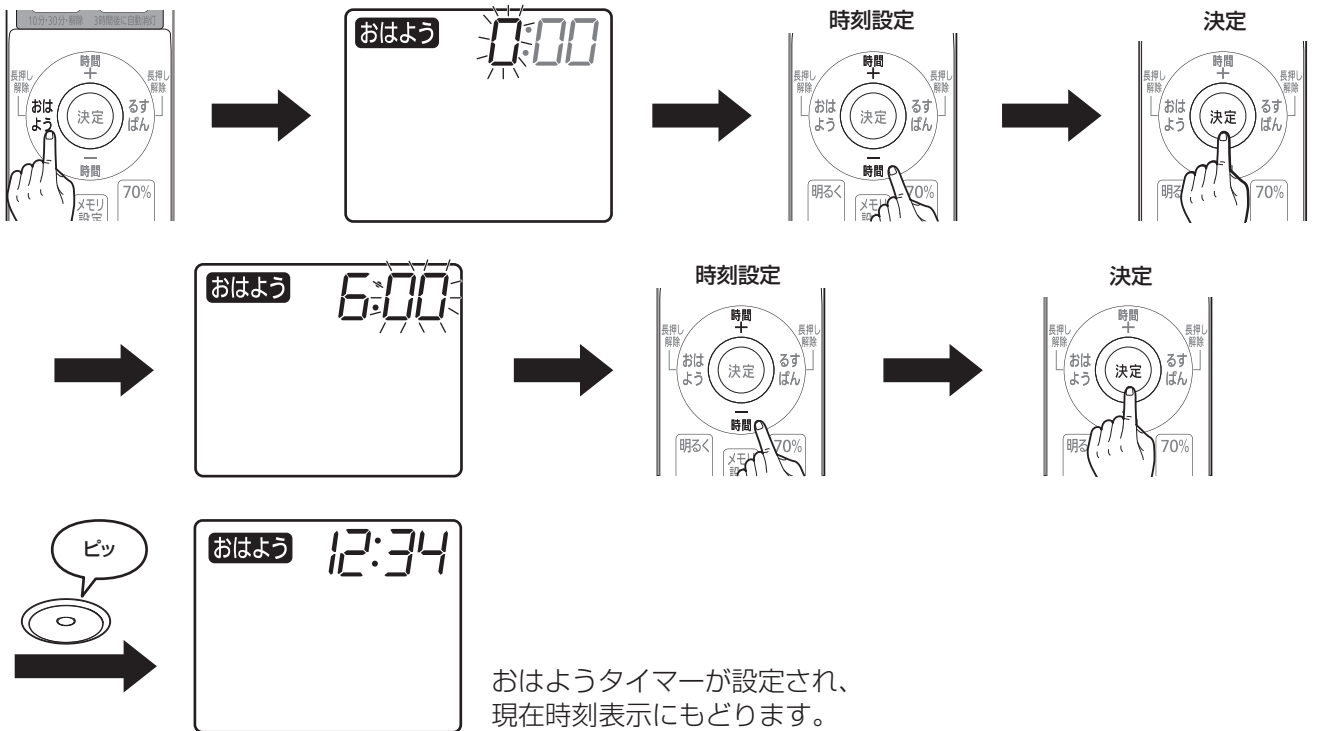
1回だけ、設定した時刻の10分前に点灯をはじめ、だんだん明るくなります。設定した時刻からは、メモリ点灯します。



おしらせ

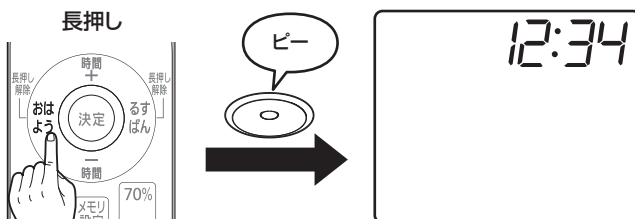
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、おはようタイマーは解除されます。
- おはようタイマー、るすばんタイマーは、待機中にもリモコンと照明器具が通信しますので、リモコンの信号が照明器具に届くところに置いてください。
※ あらかじめ、点灯したり調光したりして、信号が届くことを確認してください。通信ができないと、誤動作（動作時刻のずれ）の原因になります。
- 全灯中やシーン点灯中におはようタイマーによる点灯時刻になったときは、メモリ点灯には変わらずに、そのままの状態ですべて点灯し続けます。
- 2回目以降は前回設定した時刻が表示されます。

・点灯時刻を設定します。



設定

・「おはよう」を長押しします。



解除

・「おはよう」を1回押します。
もう1回「おはよう」を押すと、現在時刻表示にもどります。

確認

■るすばんタイマー

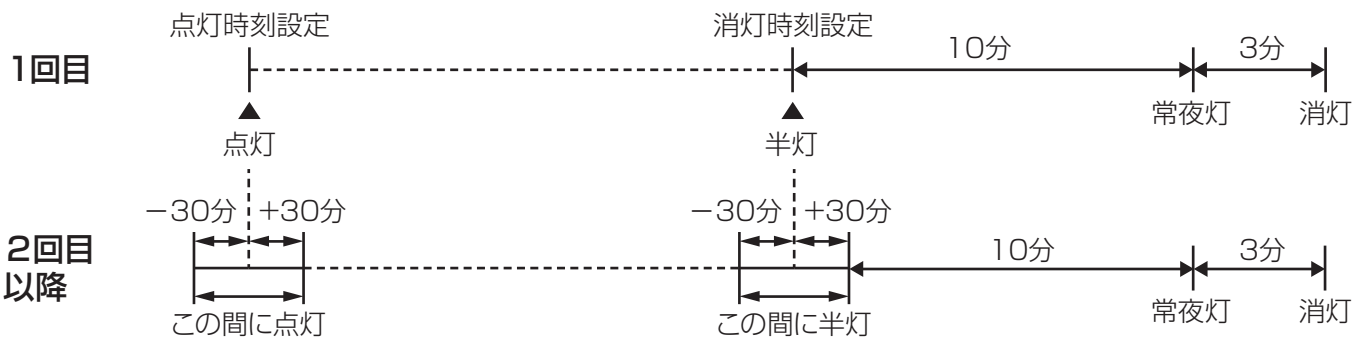
時刻設定 (13ページ参照) をしてから設定してください。
 1分後から点灯設定時刻の23時間後までの設定ができます。
 毎日繰り返し、点灯します。(点灯状態はメモリ点灯です。)
 2回目以降は前回設定した時刻が表示されます。

⚠ 注意

- 本照明器具が自動で点灯・消灯しますので、留守中でも在宅を装うことができますが、住居侵入や盗難などを阻止するものではありません。
万が一被害にあわれても、責任は一切負いかねます。
- るすばんタイマーは毎日動作します。期間を決めて動作させることはできません。
- 壁スイッチを切ったり、停電したりすると、るすばんタイマーは解除されます。
- おはようタイマー、るすばんタイマーは、待機中にもリモコンと照明器具が通信しますので、リモコンの信号が照明器具に届くところに置いてください。
※ あらかじめ、点灯したり調光したりして、信号が届くことを確認してください。通信ができないと、誤動作(動作時刻のずれ)の原因になります。
- 全灯中やシーン点灯中にるすばんタイマーによる点灯時刻になったときは、メモリ点灯には変わらずに、そのままの状態でご点灯し続けます。

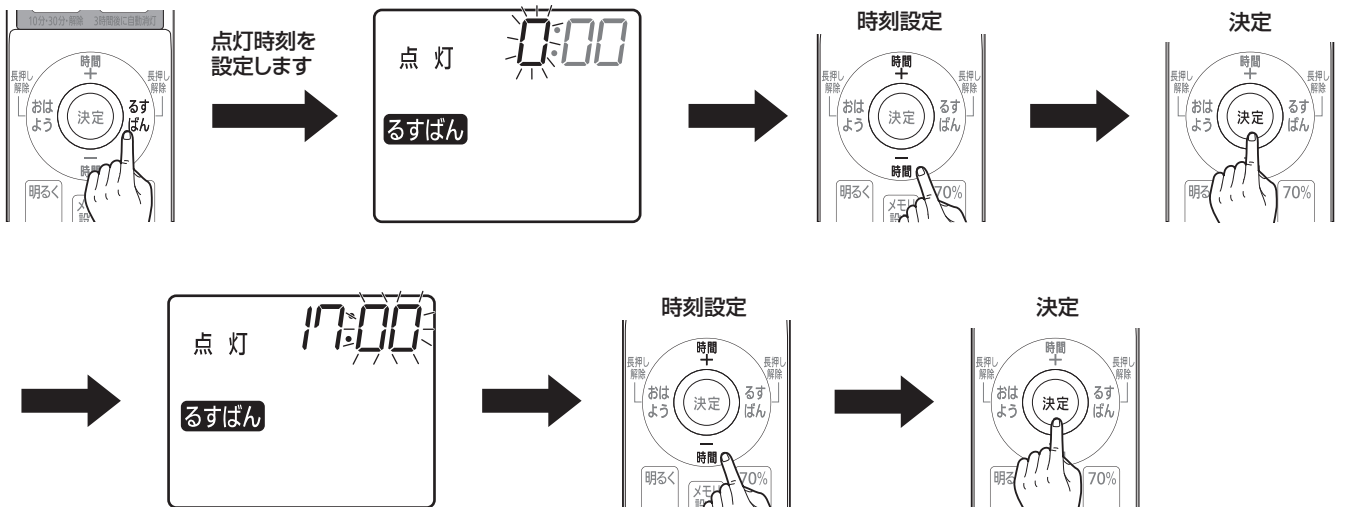
お知らせ

- 2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダム(無作為)に変わります。



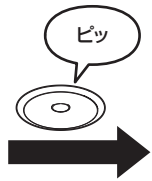
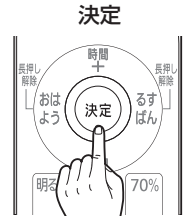
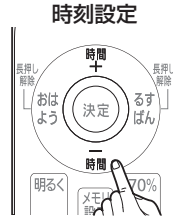
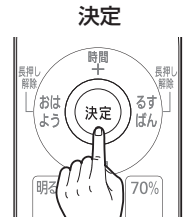
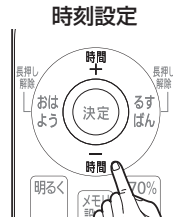
※半灯とは、現在点灯している明るさの、約半分の消費電力の明るさです。ただし、現在、最小で点灯しているときの半灯は、最小点灯のままとなります。
 点灯し続けたいときは、いったん、るすばんタイマーを解除(17ページ参照)してから、お好みの点灯状態にしてください。

設定



設定

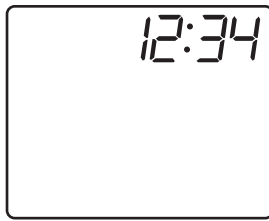
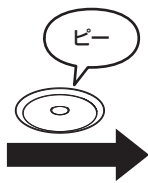
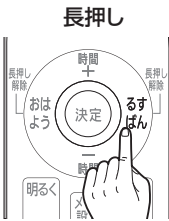
消灯時刻を設定します



るすばんタイマーが設定され、
現在時刻表示にもどります。

・「るすばん」を長押しします。

解除



・「るすばん」を1回押します。

もう1回「るすばん」を押すと、現在時刻表示にもどります。

確認

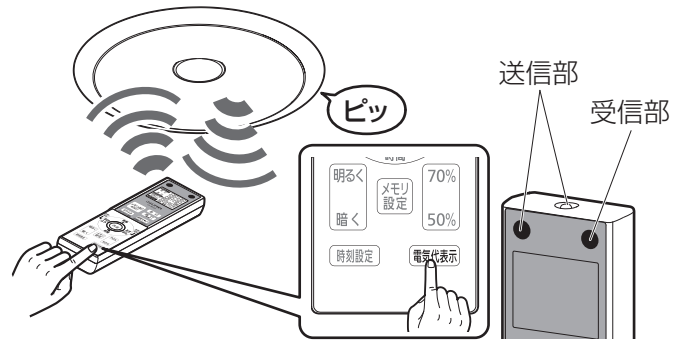
■ 電気代を表示する

お客様が本照明器具を使用されてから、現在まで使われた電気代を表示します。

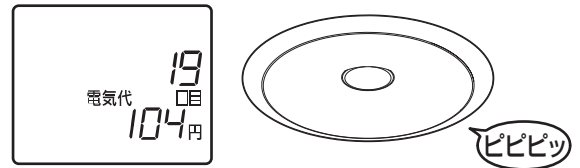
※電気代は、消費電力と点灯時間、電力料金目安単価から算出した参考値です。

目安単価は27円/kwhです。(税込。平成26年4月28日「公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会」発行『「電力料金の目安単価」の改定に関する件』による。)

1 照明器具の下でリモコンの液晶面を照明器具に向けて、「電気代表示」ボタンを押します。



2 液晶表示窓に使用日数と電気料金が表示されます。

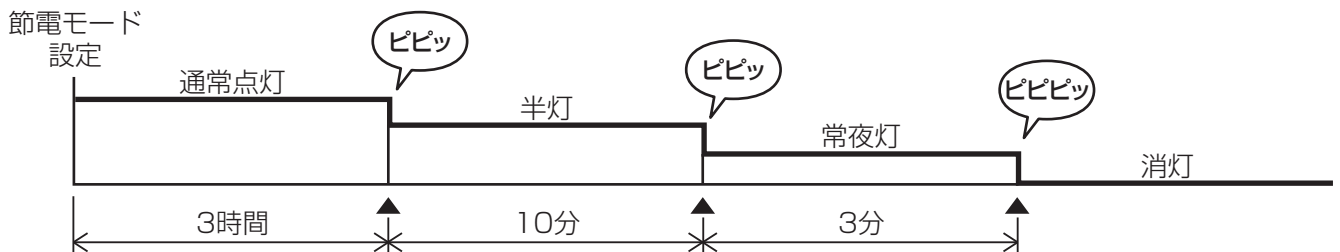


おしらせ

- 使用日数は99日目まで表示され、100日目は1日目に戻ります。
- 「電気代表示」ボタンと「決定」ボタンを、同時に長押しすると日数のカウントがリセットされ、1日目に戻ります。
- リモコンの電池切れによって、日数カウントはリセットされます。ご注意ください。

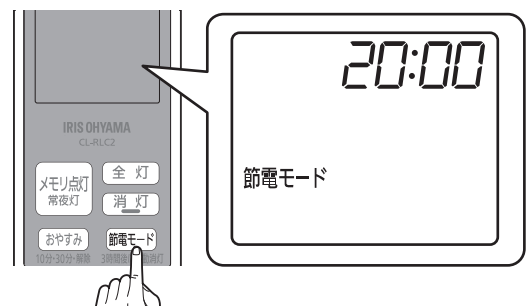
■ 節電モードを使う

節電モードを設定すると、3時間後に“半灯”になり、その10分後に“常夜灯”、さらに3分後に消灯します。

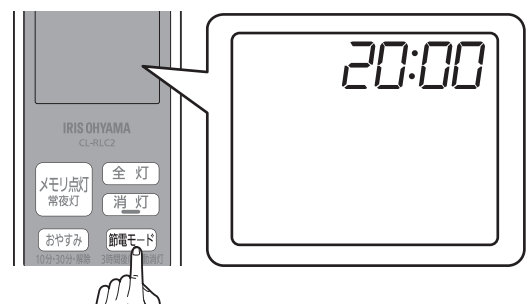


※半灯とは、現在点灯している明るさの、約半分の消費電力の明るさです。ただし、現在、最小で点灯しているときの半灯は、最小点灯のままとなります。

設定 「節電モード」 ボタンを長押しします。液晶に“節電モード”が表示されます。



解除 「節電モード」 ボタンを1回押します。液晶の“節電モード”表示が消えます。



設定

解除

お手入れについて

⚠️ 注意

- 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。
- 消灯直後は照明器具が高温になっています。確実に冷えたことを確認してから清掃してください。
- 照明器具に水をかけたり、水の中につけたりして洗うことは絶対におやめください。火災、感電の原因になります。

次のものは使用しない



ベンジン



シンナー



みがき粉



タワシ



スポンジの硬い面

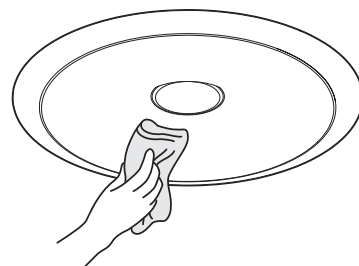
■照明器具

1 水で薄めた中性洗剤に、柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取る

2 汚れ落ちを確認後、洗剤分を拭き取る

水に浸して固く絞った布で完全に拭き取ってください。

3 仕上げに、乾いた柔らかい布で、水分を完全に拭き取る

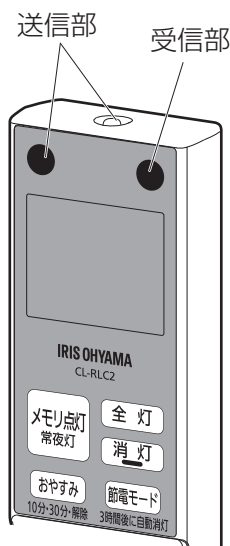


中性洗剤

■リモコン

送信部の汚れを、乾いた柔らかい布で拭き取る

汚れるとリモコンが効きにくくなります。



故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状態	考えられる原因	処置
リモコンで照明器具が操作できない	→ リモコンの電池が正しく入っていない	→ 電池を正しく入れてください。
	→ リモコンの電池が消耗している	→ 2本とも新しい電池に交換してください。(5ページ参照)
	→ 照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない	→ 照明器具とリモコンのチャンネルを合わせてください。(6ページ参照)
照明器具が点灯しない	→ 壁スイッチがOFFになっている	→ 壁スイッチをONにしてください。
タイマーが動作しない	→ リモコンの時刻が設定されていないか、ずれている	→ リモコンの時刻を設定しなおしてください。(13ページ参照)
	→ 壁スイッチを操作したか、OFFになっている	→ 壁スイッチをONにしてタイマー機能を設定しなおしてください。るすばんタイマーの場合は、リモコンを照明器具と通信できるところに置いてください。停電復帰後、次回、または次々回からるすばんタイマーが動作します。(16ページ参照)
	→ 停電によりタイマー機能が解除された	→ 壁スイッチをONにしてタイマー機能を設定しなおしてください。るすばんタイマーの場合は、リモコンを照明器具と通信できるところに置いてください。停電復帰後、次回、または次々回からるすばんタイマーが動作します。(16ページ参照)
壁スイッチをONしても点灯しない	→ 照明器具が「消灯」状態になっている	→ 壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで点灯してください。(11ページ参照)
操作していないのに明かりが消える	→ るすばんタイマーや点灯タイマーが設定されている	→ タイマーの設定通りであれば故障ではありません。
操作していないのに明かりがつく	→ 短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります	→ ご使用にならない時は、壁スイッチをOFFにしてください。タイマーを設定しているときは除きます。
操作していないのに明かりが変わる	→ 短い停電などにより、「壁スイッチで点灯状態を切り替える」機能が働き、点灯状態が切り替わることがあります	→ 壁スイッチを短く(1秒以内)操作して点灯状態を切り替えるか、壁スイッチをONにしてリモコンで切り替えてください。(11ページ参照)
るすばんタイマーによる点灯が、設定時刻より早かったり遅かったりする	→ 2回目以降の点灯時刻は、最初に設定した時刻の前後約30分の間でランダム(無作為)に変わります	→ この範囲であれば、故障ではありません。(機器自体の誤差によるものは除きます。)
おやすみタイマーで消灯しない	→ おやすみタイマーとおはようタイマーを同じ時刻に設定した	→ 点灯が優先されますので、故障ではありません。

それでも解決できないときは・・・お買い上げの販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

品番	消費電力	器具光束	定格電圧	定格周波数	待機電力	サイズ	質量
CL8N-FEⅢ	最大点灯時：20.0W	3800lm (最大点灯時)	AC100V	50/60Hz	0.5W	φ590 × H76 mm	約2.0kg
	最小点灯時：5W						
CL12N-FEⅢ	最大点灯時：26.3W	5000lm (最大点灯時)					
	最小点灯時：5W						

※LEDモジュール寿命は40,000時間です。LEDが点灯しなくなるか、光束が70%に低下するまでのいずれか短い時間を推定したものです。製品の寿命を保証するものではありません。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

■ 長期ご使用の場合は商品の自主点検をおすすめします

使用中に以下のような症状が見られた場合は、

- スイッチを入れても、ときどき点灯しないことがある。
- 照明器具を動かすと点滅する。
- こげくさい臭いがする。
- 点灯時に漏電ブレーカーが動作することがある。
- 変形、がたつき、ゆるみなどがある。
- 照明器具に破損がある。



使用中止

故障や事故の防止のため電源を切り、必ず販売店や電気工業者に点検をご依頼ください。左記以外の不具合がある場合も、販売店やアイリスコールにお問い合わせください。

LEDシーリングライト CL8N-FEⅢ CL12N-FEⅢ

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より:3年間 ただし、消耗品を除く	
お客様	お名前	※ 販売店	住所・店名
	ご住所 〒		
	電話 () -		電話 () -

販売店様へ： ※ 印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - 本書の提示がない場合
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohtyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohtyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください